資料２－１

第 10 期仙台市介護保険事業計画策定のための
実態調査(要介護者等調査)について

１　目的

本調査は第 10 期介護保険事業計画の策定にあたり、保険給付の将来推計の基礎となる介護サービスの利用状況・利用意向を把握するとともに、負担とサービスのあり方や保険外サービスの利用状況など、介護保険事業を含む本市高齢者施策に関する要介護者等の現状把握を目的として実施する。

２　実施期間

本年 10 月上旬に調査票を発送し、3 週間程度で回収、その後集計・分析を行い、本年度中に調査結果を取りまとめる予定。

３　調査対象者

本年８月末の時点において、仙台市介護保険被保険者資格を有しており、かつ、要介護認定等を受けている方から日常生活圏域（居住している中学校区）を考慮して無作為抽出した 5,000 人を対象予定。

４　調査方法

(1) 調査票の設計、調査対象者の抽出は本市が直接実施。調査票の発送・回収や調査結果の入力・集計・分析作業は、各種の調査実績を有する業者に委託して実施予定。

(2) 調査対象者宅に調査票（無記名式）を郵送し、記入後の調査票を同封の返信用封筒にて返送してもらう郵送方式。なお、特別養護老人ホーム入所者については、施設職員から調査対象者等に配付してもらう予定（施設入所者に係る質問項目のみを抜粋した調査票を別途作成）。

５　調査項目（案）

前回調査（令和４年度実施）で使用した調査票をベースに、調査項目の加除・修正を行う。

※調査票の新旧対照は資料 2-2 を参照。（調査票の体裁は事務局で検討）

(1) 設問自体を追加するもの

なし

(2) 設問自体を削除するもの

①前回調査票 問５ 「住まいの中学校区」

→調査票に予め中学校区を記載することで対応。

②前回調査票 問 11(1) 「在宅で暮らしていくために必要なこと（自由記述）」

→前回調査票 問 40 の施策全体に対する意見の自由記述で対応。

③前回調査票 問 19(1) 「新型コロナ感染拡大による介護サービス利用回数の変化」

→令和５年５月に感染症法上の位置付けが５類感染症になったため。

(3) その他設問、回答選択肢の修正

制度改正によるものや軽微な文言修正など

６　今後のスケジュール（予定）

令和７年　　８月　委託事業者選定手続き
　　９月　調査票確定、調査対象者抽出
　　10 月　調査票発送、回収
　　11 月　集計・分析
令和８年　　３月　調査報告書完成

７　参考（前回調査の実施状況）

(1) 調査期間

令和 4 年 10 月 7 日～10 月 31 日

(2) 調査対象者

令和４年８月末の時点において、仙台市介護保険被保険者資格を有しており、かつ、要介護認定等を受けている約 50,000 人から日常生活圏域（居住している中学校区）を考慮して無作為抽出した 5,000 人

(3) 回収率等

有効回収率 52.9%（回収数／標本数＝2,646／5,000）